

# だんないの道

## 第4号

2012年3月15日発行

発行者：NPO法人CILだんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市  
木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつ	.....	P1
研修生あいさつ	.....	P2
1周年記念事業のご案内	.....	P3
活動報告	.....	P5
コラム よりの雑記帳	.....	P7



### 代表あいさつ

厳しかった冬、皆さんはいかがお過ごしだったでしょうか。だんないの雪もようやく解けようとしています。一時は1m以上も積もり、毎日の活動に支障が出ていた頃もありました。家から出られない人、電動車椅子が故障した人、雪かきで体調を崩した人と、職員は対応に追われました。県外から来た職員は湖北の冬を初めて体験し、思わず「こんなにすごいとは…なめていた」ともらしたほどでした。冬が厳しい分、春の訪れは待ち遠しく、喜びも一入です。ようやく通常の活動へと戻りつつあり、ホッとしているこの頃です。

国会に目を向けてみると、昨年8月に障がい者制度改革推進会議総合福祉部会から骨格提言として国に出され、その提言を国がどこまで取り入れるのか注目が集まっていました。そして、今年2月に今の障害者自立支援法にかわる新法の概要が示されました。それを読むと、目を疑いたくなるほど骨抜きにされていました。基本理念が若干変更されたり、障害者の範囲が拡大されたり、グループホームとケアホームが一元化されたり、不十分ながらも改善された点はありましたが、それ以外はほとんど取り入れられず反故にされるという無残な結果となりました。その後、議員への働きかけによって若干の修正が図られたようですが、それでも「あの骨格提言はなんだったのか」と言いたくなるほど、やりきれない思いになります。

しかし、重要なことは、これから私たちがどのように生きていくかです。これまで以上に障害者が地域で自立生活運動を営む意義が高まっていくと感じています。障害者が地域の中で生活を送り、自分の

思いを発信していくことで、生きづらい社会が徐々に改善していくはずですが、それが新たな自立する障害者を生み出し、国などに制度を変える必要性を訴えるメッセージとなるはずですが、今後も国の障害者施策を巡る動向を注視したいです。

さて、NPO 法人CIL だんないは、本格的に活動を開始して1年が経つということで、来月14日(土)13時～、1周年記念シンポジウムを開催します。場所は、長浜市港町にある勤労者福祉会館「臨湖」です。『自立生活』というテーマを設け、熊本からお招きするゲストスピーカーによる基調講演や、県内において様々な方面で活動されている数名のパネラーによるシンポジウムを開催します。これを機会に、湖北地域の障害者が自立生活を営むにはどのような環境を整えられる必要があるかを考えられればと思います。ぜひお誘い合わせの上、ご参加いただきたいと思います。

最後に、皆様には引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。何かと出費が多い折ではありますが、今年度の会費納入がお済でない方は納めていただきますように、お願いします。だんだんと温かくなっています。ドライブやお花見などで、お近くまで来られた際は是非お立ち寄りください。

## 研修生あいさつ

4月から「NPO法人CILだんない」の一員になることになった横山卓馬です。だんないも設立して2年が過ぎましたが、私自身、去年は理事として一歩引いた所からだんないに関わらせてもらっていましたが、この度、京都から木之本に移り住み当事者職員として、ほかのメンバーと共に歩いていくことになりました。すべてがゼロからスタートで不安もありますが、多くの方の力を借りながら馴染んでいければと思っています。

私と代表は、大学時代に出会いました。出会った頃は現在のような法人を設立して、共に活動することになるとは想像できなかったですが、大学時代に代表や事務局長を含め、ほかの障害学生とOUSという団体を作ったことがきっかけで話すようになり、勉強会や飲み会を通じて現在の医学モデルを基本とした障害者に対する考え方に違和感を覚え、その時から何とか多くの人を社会モデルの考え方に変えていけないかという思いを強く持っていました。そのことを考えると代表と副代表が夢を持ち、私もその思いに賛同して、現在ここまで形になったことを思うと嬉しい限りです。

しかし、法人を設立することが私たちのゴールではありません。むしろ、スタートから一歩を踏み出したに過ぎません。医学モデルの社会を変えていくには相当の覚悟と体力、支えが必要になってきます。社会は障害者に対して、「可哀想だ」や「気の毒だ」などといった思いを持ち、障害を持ちながらもリハビリなどを行うことで健常者に近づこうとしている障害者を「頑張っている障害者」と見なす傾向があるように感じます。このような社会に充満する医学モデルの考え方は、障害者にも影響を及ぼし、「障害を持っている自分が悪い」や「絶対に働かなければならない」といった考え方に縛られているように思います。私は1年間一般企業で働いてみて、社会がどれだけ医学モデルに支配されているか身をもって知りました。そして、雇用された障害者は会社の方針に従うしかなく、その中では一人ひとりが持っている良さがなくなり、ただ、仕事ができるか、できないかだけで判断されることが多いように思います。

その部分について雇用する側も雇用される側も何の違和感を持たず、障害者がただ自分を責めているというのが現状だと感じました。

私はそういう医学モデルの社会を変えていく力に少しでもなりたいと思っています。そのためには、まず、様々な運動や交流の中で「障害者を知ってもらう」ことから始め、身近な人から少しずつ伝えていくことが何より大事だと思います。その積み重ねがだんないの発展に繋がると思うので、できることからやっておこうというのが私の思いです。

---

## NPO法人CILだんない一周年記念事業 実施要綱

1. 事業名 NPO法人CILだんない一周年記念事業
2. 目的 湖北地域に住む障害者が抱える問題を参加者と共に確認し、解決に向けて取り組むきっかけとする。
3. 開催日時 平成24年4月14日(土)13:00～
4. 会場 勤労者福祉会館「臨湖」 長浜市港町4番9号
5. 内容 重度障害で自立生活を実践されている方にさせていただき記念講演や、県内外から様々な立場におられる方をパネリストとして来ていただいて障害問題について考えるシンポジウムを通し、参加者が湖北地域の課題を共有し、障害者がより自分らしく暮らせる社会を構築していくにはどうすれば良いかを考えていく。
6. 主催 NPO 法人 CIL だんない
7. 後援 長浜市
8. 連絡先 〒529-0423 長浜市木之本町千田 681-4  
担当者 頼尊 恒信  
電話番号 (0749)50-3639

# NPO法人CILだんないー周年記念事業

重度障害で自立生活を実践されている方にしていただく基調講演や、県内外から様々な立場におられる方々をパネリストとしてお招きし、障害問題について考えるシンポジウムを開催します。湖北地域に住む障害者が抱える問題を参加者と共に確認し、解決に向けて取り組むきっかけにしたいと思います。

参加者が湖北地域の課題を共有し、障害者がより自分らしく暮らせる社会を構築していくにはどうすれば良いかを考えていきます。

## 《第1部：基調講演》

古木隆氏 (ヒューマンネットワーク熊本 活動員)

## 《第2部：シンポジウム》

渡辺孝宏氏「重度障害者と余暇活動・スポーツ」

小里和也氏「自立生活への夢」

曾我昭彦氏「ヘルパーとして支える」

ディスカッションほか

コーディネーター 頼尊恒信

開催日時 平成24年4月14日(土) 13:00～  
会場 勤労者福祉会館「臨湖」長浜市港町4番9号

連絡先 〒529-0423  
長浜市木之本町千田681-4  
担当者 頼尊 恒信  
電話番号 (0749)50-3639

## 古木隆氏プロフィール

1980年4月2日熊本市生まれ。  
小学4年まで熊本県阿蘇郡高森町普通学校にいましたが、障害を理由に熊本再春荘病院に入院することになり養護学校に転入。

24歳まで入院していましたが重い肺炎にかかり自分はこのままでは病院にいたまま死ぬということ意識したとき、このまま病院にいることに疑問を感じもっと自分らしい生活をしたいとおもうようになりました。そのときピアカウンセリングに出会い、自立し、地域で暮らしている仲間に出会い「たかしならできるよ」といってもらい自信が出てきました。そのことをきっかけにして25歳のとき退院して熊本市に一軒家を借りて一人暮らしをはじめました。

現在はヒューマンネットワーク熊本で活動員として、ピアカウンセリング自立生活プログラムの担当をしています。自立する楽しさ大切さを伝えていきたいです。

## シンポジスト プロフィール

### 【渡辺孝宏氏】

日本障害者スポーツ協会 障害者スポーツ指導員（中級）。滋賀県障害者スポーツ協会 競技力向上委員。滋賀県選手団卓球競技の監督・コーチとして全国障害者スポーツ大会に参加。スペシャルオリンピックス日本 認定コーチ。知的障害者のソフトボールチーム「滋賀シューティングスターズ」コーチ。電動車椅子サッカーチーム「F.C. LUTESTAR SHIGA」監督。

### 【小里和也氏】

1991年3月5日彦根市生まれ。小学校6年までは普通学校に通っていましたが、中高は養護学校に通ってました。卒業してからは、近くの生活介護型施設に入り、ただ毎日の生活リズムを保つだけでした。しかし昨年以來、だんないの活動員になって、自立したいという意欲が湧いてきました。それとともに、地域を変える必要性も感じました。だんないとの出会いをきっかけに、自信を持てるようになりました。これからの目標は、いつでも外出できるような環境を整え、いつの日か彦根にもだんないのようなCILを立ち上げることです。そしてみんなに一番伝えたいのは、障害者がしあわせだなど思うことはたくさんあるということです。

### 【曾我昭彦氏】

1977年7月9日大阪府八尾市生まれ。小・中・高と奈良市の学校で学ぶ。京都市内の大学に進み、3年で中退する。中退後、働けずに数年を過ごす。とある縁で、大阪府のあるNPO法人（ひきこもり支援）が行っている一人暮らしプログラムに申し込み、支援を受ける立場を経験する。そこで福祉の仕事をしている人々に出会い、福祉に興味を持つ。その後、長浜市で就職し、昨年に退職。現在はNPO法人CILだんないで介助員として働いている。

## 活動報告

日付	内容	参加者
1月12日	総合福祉法滋賀フォーラム（草津）	全員
1月12日	NPO講座（草津）	頼尊
1月14日	NPO講座（近江八幡）	頼尊
1月17日	NPO講座（近江八幡）	頼尊
1月18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第8回住まいの場確保プロジェクト	美濃部、市川、頼尊
1月19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第10回相談ワーカー部会	美濃部、頼尊

1月19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第5回重介護・医療ケア検討部会	頼尊
1月22日	NPO講座（近江八幡）	頼尊
1月23日	木之本小学校講演	美濃部
1月24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第5回発達しょうがい者支援部会	頼尊
1月25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第9回住まいの場確保プロジェクト	美濃部、頼尊
1月26日	NPO講座（近江八幡）	頼尊
1月29日	アークスペクトラム主催 総合福祉法シンポジウム	美濃部
1月29日	ヒューマンネットワーク熊本20周年シンポジウム パーティ	頼尊
2月2日	NPO講座（草津）	頼尊
2月9日	NPO講座（草津）	頼尊
2月12日	アークスペクトラム主催総合福祉法シンポジウム	美濃部、頼尊
2月13日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第10回住まいの場確保プロジェクト	美濃部、市川、頼尊
2月16日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第11回相談ワーカー部会	美濃部、市川、頼尊
2月16日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第5回重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	頼尊
2月17日	NPO講座（草津）	頼尊
2月17日	支援センターそら主催地域移行フォーラム	美濃部
2月19日	NPO講座（近江八幡）	頼尊
2月19日	アークスペクトラム主催総合福祉法シンポジウム	美濃部
2月20日	帝産バス乗車拒否問題検討会議	頼尊
2月25日	2011年高次脳機能障害リハビリテーション講習会	市川
2月26日	ピアカウンセリング入門講座 事務所にて	美濃部
2月29日	指定サービス事業所 実地指導	
3月1日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第6回重介護・医療ケア検討部会	頼尊
3月2日	長浜養護学校高等部卒業式	美濃部
3月2日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会	美濃部、頼尊
3月3日	岐阜県身体障害者福祉協会 講演	頼尊
3月4日	ピアカウンセリング講座（ほっとステーション）	美濃部
3月5日	帝産バス乗車拒否問題検討会議	頼尊
3月8日～11日	沖縄出張	頼尊

## コラム

### ヨリの雑記帳（3）

この原稿を書いている今、ちょうど、この「だんないの道」の編集作業の数時間前である。気付けば、もうこんな時間になっている。「急がないと」と思いながら、なかなか文章を書き出せない私がいる。

思い起こすと、昨日もそうだ。最近、親しくしていただいている飲食店で、親しい仲間と数時間にわたって飲食をした。もちろん、思い出話や、その他の物事で話が尽きることがなかった。親交歴は、片手をすでに超えている友との酒席は、いつも夜が更けるまで続く。そして、翌日になれば、いつも「昨日は、深酒しすぎた！」と私は反省するのである。

もう 10 年ほど前、私がまだ学生だった時の出来事であるが、これも、前日に先輩と深酒をしてしまって、二日酔いのままで、なじみのラーメン屋さんに行ったことがある。私は、店の人にいつもの調子で「あー、昨日、先輩に飲ましてもらって、二日酔いやー」という内容の話をした。すると、店の人いわく、「障害者のくせに、酒飲んだら、あかんで。障害者は、世間のお世話にならんとあかん存在やからなあ。ちゃんといきな！……。」と、お叱りを受けた。たしかに、あの時代は、今よりもよく夜の繁華街で遊んでいたし、休肝日も少なかったような気がする。先輩によくいろいろなお店に連れて行ってもらったし、「なじみの客」となっていた店も数店あった。今も、「マジメに生きている」と言えた柄ではないが、当時はもっと不真面目な生き方をしていたのもたしかだ。

でも、それと「障害者だから酒飲むな」という風潮は、異なる問題だ。そこに、ステレオタイプの障害者観がある。つまり、「障害者は、清楚で真面目で頑張り屋で……」というある種、多くの人々によって作られ、固定化したイメージが横たわっているのは事実であろう。

どちらかといえば私は、そのような固定化されたイメージにそぐわない生き方をしていると思う。「と、思う」というより、むしろ意図的にそぐわない生き方をしてきたのかもしれないし、そぐいたくもないと思う。たしかに、ある種、意図的にそぐわない生き方をしてきたので、お叱りの声も大きいかもしれない。でも、これをやめる気はしない。なぜかという、私は「清楚な障害者」として生きたいのではなく、普通の「あくの強い下町のおっちゃん」として生きたいからである。

このようなことを考えながら、最近、障害者関連のニュースを見ていると、「これは、雲行きが怪しいぞ」と叫びたくなるニュースが山のようにある。「僕たち障害者を乗せた船は、どこに向かっているのか？どこに向かわせられているのか？」と強く思う。それと同時に、憤りや不安が矢継ぎ早に想起される。

もちろん、色々考えたいことはある。でも、基本はどれだけ障害が進行しても、昨日の居酒屋のように、どの店でも親しい友人と共に「マスター、ビールをもう一杯、おかわりで！」と叫び続けられる世の中になっていくことと、それを支える環境の営みが整い続けられることが、本当の共生であり、平和な世の中ではないだろうか。

障害者福祉について、難しい議論をすることは簡単である。でも、いくら制度が整っても、「マスター、ビールをもう一杯、おかわりで！」と叫べなかったとしたら、それは、平和な世の中とは決して言えないのではないかなあとひしひしと感じている。

さてと、この原稿も書き終わったことだし、今晚は、誰と、打ち上げをしようかな？

（よりたか つねのぶ）

NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

TEL : 0749-50-3639

URL : [www.ab.auone-net.jp/~dannai](http://www.ab.auone-net.jp/~dannai)

FAX : 0749-50-3961

E-mail : [dannai@ae.auone-net.jp](mailto:dannai@ae.auone-net.jp)

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない